

案内 令和3年度 高岡市男女平等推進センター活動登録団体

《新規活動登録団体を募集します》

高岡駅に近く、市立中央図書館や生涯学習センターホール等もあるウイング・ウイング高岡の6階にある当センターを活動の拠点として活用しませんか。

登録団体のメリット

- ・登録団体は交流スペース A 及び B を無料で使えます。
- ・活動のための物品が収納できるロッカーを無料で利用することができます。
- ・団体の活動をセンターのホームページやセンターだよりで紹介することができます。

登録要件

男女平等・共同参画の推進に関する活動をしている(しようとする)団体・グループで、かつ以下の要件をすべて満たしていること。

- 1 目的・計画を持ち、センターと連携を図りながら事業を実施する
- 2 メンバーが5人以上いる
- 3 代表者が市内在住か通勤・通学している
- 4 営利を目的としない
- 5 登録団体懇談会及びセンターでの事業への参加

★登録更新(廃止)のご案内

令和2年度の活動登録団体は2月28日までに登録更新(廃止)の申請をお願いします。

(詳しくは男女平等推進センターへお問い合わせください)



センター・登録団体等の活動や講座予定

令和3年2月

- 2日(火) E ネット定例会
- 21日(日) 市民企画講座 第2回「女性たちによる無料相談会」
- 26日(金) 第2回高岡市男女平等推進センターネットワーク会議
- 26日(金) 話スペース「ぼこ あ ぼこ」

令和3年3月

- 2日(火) E ネット定例会
- 15日(月) センター企画講座「女性就労セミナー」
- 26日(金) 話スペース「ぼこ あ ぼこ」

相談室(配偶者暴力相談支援センター)

専任相談員が、DV や生き方、夫婦の問題等の相談を受けています。 ※面接相談は要予約

相談時間 月・火・水・金 9:30 ~ 16:30
木 14:00 ~ 20:00

休業日 土曜・日曜・祝日・毎月第4月曜・年末年始

相談室専用電話

(0766) 20-1811



高岡市男女平等推進センター

休館日 毎月第4月曜日、12月29日~翌年1月3日
所在地 〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7(ウイング・ウイング高岡6階)
問合先 TEL:(0766)20-1810 FAX:(0766)20-1815 E-mail: gec@city.takaoka.lg.jp
HP: <http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html>

高岡市は男女平等・共同参画都市を宣言しています。「認めあい 支えあい 共に輝くひととまち」をみんなで目指しましょう。

高岡市男女平等推進センターだより

ありて mate

2021.2.1 No.91



福祉用具店から見た 男女平等・共同参画

高岡市男女平等推進市民委員会 委員

塚田 高史さん

高岡市男女平等推進市民委員を務めさせていただいております。高岡市伏木にある福祉用具レンタル・販売まるしんの塚田と申します。

私の会社の仕事は介護用品の販売、月単位でベッド・車いすを一般の方向けに貸し出すサービスを行っております。

福祉用具店を取り巻く伏木地区の環境を申し上げますと、昨年9月の段階で1万人の人口のうち65歳以上が4,200人で、40.7%が65歳以上となります。国全体の高齢化率が28.7%であることを考えると伏木地区は10%以上高いと言えます。以上の数字は2025年を境にさらに増加していくと見られます。

この様に申し上げますと、この先地域は暗いのではないかと思います。私はそのようなとは思いません。私は仕事を通じて65歳以上の方とお会いすることも多くありますが、現役で活動している人を多く見かけます。

また、スマートフォンを皆さま持っておられ、私に撮影した写真を見せてくださったり、中にはゲームを楽しんでいる高齢の方ともお会いします。ここだけの話ですが、スマートフォンを使って楽しんでおられるのは女性の方が多いような気がします。

この原稿を書いている今、テレビでは新型コロナウイルス感染防止の強化のため非常事態

宣言が発令されていますが、私の両親はSkypeを使い、東京にいる孫といつもおしゃべりしています。

ハイテク機器を使う高齢者を見て、私が幼いころに抱いていた還暦を過ぎた人のイメージと現実が全く異なることをつくづく思います。

また、福祉用具をお使いの奥様を見ると、これらの道具を積極的に使い地域の活動にも積極的に出ていかれる姿を見かけます。子どもの頃、社会活動するのは男性と思っていましたが、このご時世、男性女性、年齢の高い低いに関係なく意欲のある人が共同参画で街を作っていくのだと思われれます。

男女平等推進市民委員の立場から最後に、当社では最近腰の負担を軽減するアシストスーツを多く販売しています。これは高齢者のいる家庭だけではなく、工場内の積替え運搬作業用としても販売しています。ここ最近の機能向上は凄まじいものがあり、女性が身に付けても軽々と重いものが運べるようになります。だんだんと男性、女性の仕事がボーダレスになってくると思います。

これからも仕事を通じ、男女年齢差問わず地域の人たちが「楽しい」「しあわせ」と思えることを提案していき、地域の発展の一翼になりたいと思います。